

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2022年6月10日まで（2007年8月14日設定）	
運用方針	主として証券投資信託であるモルガン・スタンレー新興国現地通貨建債券ファンドF（適格機関投資家専用）およびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資を通じて、新興国の債券に実質的な投資を行います。実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	三菱UFJ新興国通貨建て債券ファンド（毎月決算型）	モルガン・スタンレー 新興国現地通貨建債券ファンドF（適格機関投資家専用）およびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。
	モルガン・スタンレー新興国現地通貨建債券ファンドF（適格機関投資家専用）	モルガン・スタンレー 新興国現地通貨建債券マザーファンド受益証券を通じて新興国の現地通貨建債券を主要投資対象とします。ただし、直接債券等に投資する場合があります。
	マネー・マーケット・マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。
主な組入制限	投資信託証券への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定し、原則として配当等収益等を中心に安定した分配をめざします。ただし、毎年6月・12月の計算期末には、安定分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。なお、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書(全体版)

三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド（毎月決算型）

第93期（決算日：2015年7月10日）

第94期（決算日：2015年8月10日）

第95期（決算日：2015年9月10日）

第96期（決算日：2015年10月13日）

第97期（決算日：2015年11月10日）

第98期（決算日：2015年12月10日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド（毎月決算型）」は、去る12月10日に第98期の決算を行いましたので、法令に基づいて第93期～第98期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

三菱UFJ投信株式会社は2015年7月1日に国際投信投資顧問株式会社と合併し、「三菱UFJ国際投信株式会社」となりました。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 URL:<http://www.am.mufig.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル

TEL. 0120-151034

(9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆ 目 次

三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド（毎月決算型）のご報告

◇最近30期の運用実績	1
◇当作成期中の基準価額と市況等の推移	2
◇運用経過	3
◇今後の運用方針	8
◇1万口当たりの費用明細	9
◇売買及び取引の状況	10
◇利害関係人との取引状況等	10
◇組入資産の明細	11
◇投資信託財産の構成	11
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	12
◇損益の状況	13
◇分配金のお知らせ	14
◇お知らせ	14

投資対象ファンドのご報告

◇モルガン・スタンレー 新興国現地通貨建債券ファンド F（適格機関投資家専用）	16
◇マネー・マーケット・マザーファンド	34

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			(参 考 指 数)		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配	み 金	期 騰 落 率	期 騰 落 率				
	円	円	円	%	%	%	%	%	百万円
69期(2013年7月10日)	6,714	25	△1.7	29,699.86	△1.0	0.3	—	98.7	8,025
70期(2013年8月12日)	6,480	25	△3.1	28,817.09	△3.0	0.3	—	99.1	7,327
71期(2013年9月10日)	6,365	25	△1.4	28,471.30	△1.2	0.3	—	99.1	6,829
72期(2013年10月10日)	6,431	25	1.4	29,088.37	2.2	0.3	—	99.1	6,659
73期(2013年11月11日)	6,345	25	△0.9	29,055.22	△0.1	0.4	—	99.0	6,373
74期(2013年12月10日)	6,559	25	3.8	30,323.82	4.4	0.3	—	99.1	6,247
75期(2014年1月10日)	6,477	25	△0.9	30,097.14	△0.7	0.4	—	99.2	5,759
76期(2014年2月10日)	6,184	25	△4.1	28,932.56	△3.9	0.4	—	98.9	5,323
77期(2014年3月10日)	6,331	25	2.8	29,742.11	2.8	0.4	—	98.9	5,330
78期(2014年4月10日)	6,514	25	3.3	30,527.17	2.6	0.4	—	98.9	5,284
79期(2014年5月12日)	6,550	25	0.9	30,905.22	1.2	0.4	—	99.2	5,198
80期(2014年6月10日)	6,613	25	1.3	31,519.87	2.0	0.4	—	98.9	5,133
81期(2014年7月10日)	6,557	25	△0.5	31,427.89	△0.3	0.5	—	97.7	4,851
82期(2014年8月11日)	6,431	25	△1.5	30,842.97	△1.9	0.5	—	98.9	4,600
83期(2014年9月10日)	6,591	25	2.9	31,992.21	3.7	0.5	—	98.1	4,562
84期(2014年10月10日)	6,514	25	△0.8	31,833.66	△0.5	0.5	—	97.9	4,372
85期(2014年11月10日)	6,814	25	5.0	33,027.74	3.8	0.5	—	98.4	4,445
86期(2014年12月10日)	6,990	25	2.9	33,533.14	1.5	0.1	—	97.8	4,337
87期(2015年1月13日)	6,810	25	△2.2	32,406.14	△3.4	0.1	—	97.9	4,076
88期(2015年2月10日)	6,706	25	△1.2	32,372.66	△0.1	0.1	—	97.9	3,954
89期(2015年3月10日)	6,463	25	△3.3	31,575.40	△2.5	0.1	—	97.9	3,484
90期(2015年4月10日)	6,529	25	1.4	32,508.30	3.0	0.1	—	98.0	3,404
91期(2015年5月11日)	6,458	25	△0.7	32,288.79	△0.7	0.2	—	97.9	3,255
92期(2015年6月10日)	6,443	25	0.2	32,220.58	△0.2	0.1	—	98.1	3,161
93期(2015年7月10日)	6,252	25	△2.6	31,367.33	△2.6	0.2	—	98.0	2,986
94期(2015年8月10日)	6,157	25	△1.1	31,007.83	△1.1	0.2	—	98.0	2,850
95期(2015年9月10日)	5,591	25	△8.8	28,190.69	△9.1	0.2	—	97.5	2,490
96期(2015年10月13日)	5,795	25	4.1	29,728.29	5.5	0.2	—	97.6	2,536
97期(2015年11月10日)	5,739	25	△0.5	29,513.67	△0.7	0.2	—	97.4	2,473
98期(2015年12月10日)	5,555	25	△2.8	28,863.78	△2.2	0.2	—	97.6	2,353

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) J P モルガン G B I - E M グローバル ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド（円換算ベース）とは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド（ドルベース）をもとに、委託会社が計算したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭ グローバル ダイバーシファイド(円換算ベース)		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 証 入 比 率
		円	騰 落 率		騰 落 率			
第93期	(期 首) 2015年 6 月10日	6,443	—	32,220.58	—	0.1	—	98.1
	6 月末	6,355	△1.4	31,765.24	△1.4	0.2	—	98.1
	(期 末) 2015年 7 月10日	6,277	△2.6	31,367.33	△2.6	0.2	—	98.0
第94期	(期 首) 2015年 7 月10日	6,252	—	31,367.33	—	0.2	—	98.0
	7 月末	6,218	△0.5	31,302.36	△0.2	0.2	—	98.1
	(期 末) 2015年 8 月10日	6,182	△1.1	31,007.83	△1.1	0.2	—	98.0
第95期	(期 首) 2015年 8 月10日	6,157	—	31,007.83	—	0.2	—	98.0
	8 月末	5,829	△5.3	29,219.41	△5.8	0.2	—	98.3
	(期 末) 2015年 9 月10日	5,616	△8.8	28,190.69	△9.1	0.2	—	97.5
第96期	(期 首) 2015年 9 月10日	5,591	—	28,190.69	—	0.2	—	97.5
	9 月末	5,458	△2.4	27,639.62	△2.0	0.1	—	97.5
	(期 末) 2015年10月13日	5,820	4.1	29,728.29	5.5	0.2	—	97.6
第97期	(期 首) 2015年10月13日	5,795	—	29,728.29	—	0.2	—	97.6
	10 月末	5,718	△1.3	29,247.64	△1.6	0.2	—	97.5
	(期 末) 2015年11月10日	5,764	△0.5	29,513.67	△0.7	0.2	—	97.4
第98期	(期 首) 2015年11月10日	5,739	—	29,513.67	—	0.2	—	97.4
	11 月末	5,664	△1.3	29,451.50	△0.2	0.1	—	97.5
	(期 末) 2015年12月10日	5,580	△2.8	28,863.78	△2.2	0.2	—	97.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

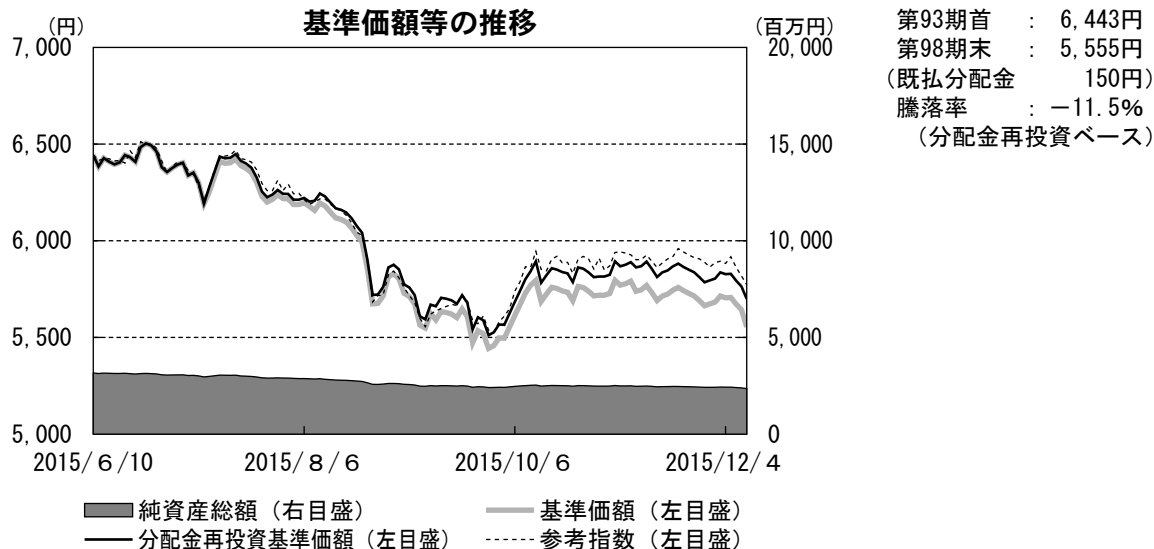
運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について

（第93期～第98期：2015/6/11～2015/12/10）

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ11.5%（分配金再投資ベース）の下落となりました。



- ・ 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・ 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

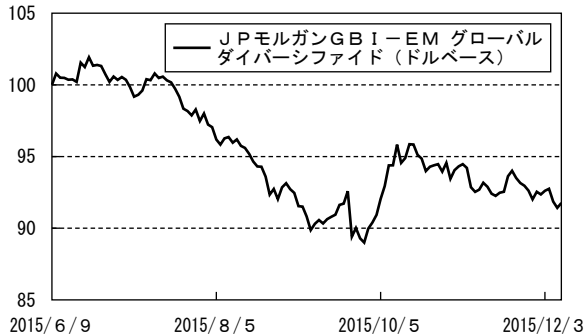
基準価額の主な変動要因

下落要因

保有しているコロンビア国債が下落したこと、新興国通貨が対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

債券市況の推移（当作成期首を100として指数化）



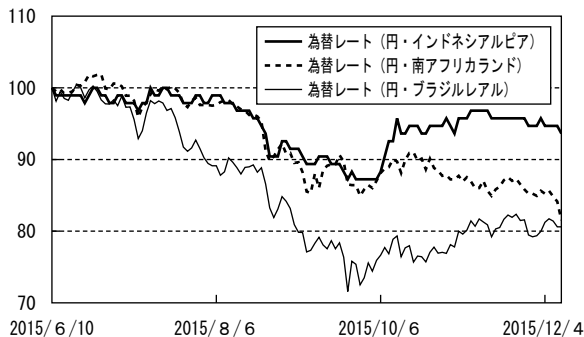
（注）現地日付ベースで記載しております。

（第93期～第98期：2015/6/11～2015/12/10）

◎債券市況

新興国通貨建て債券市況の代表的な指標であるJPモルガンGBI-EM グローバル ダイバーシファイド（ドルベース）は、当作成期首に比べ8.2%下落しました。インフレ懸念がやや緩和したことで金融緩和観測が高まったロシアなどの債券市況が上昇（利回りは低下）した一方、原油価格が下落したことや消費者物価上昇率が市場予想を上回る状況が続いたことが嫌気されたコロンビアなどの債券市況は下落しました。また、新興国通貨が総じて対米ドルで下落したことなども影響しました。

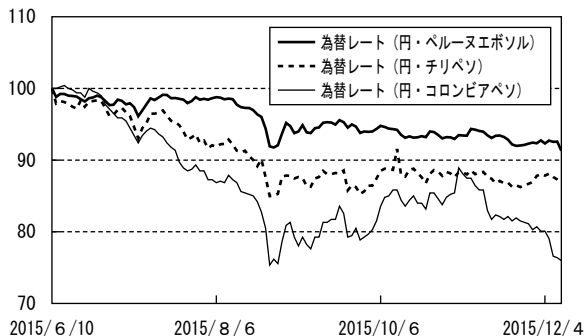
為替市況の推移（当作成期首を100として指数化）



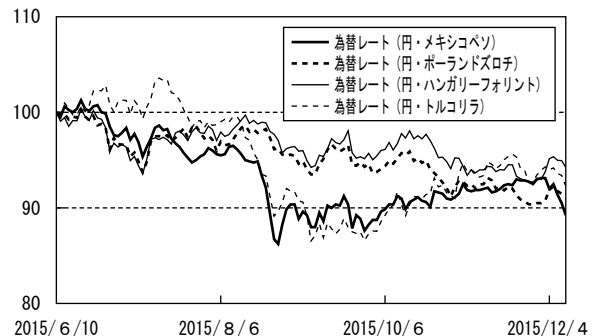
◎為替市況

為替市場では、2015年8月から9月にかけて中国の景気減速懸念などを背景に世界的にリスク回避の動きが強まったことなどが影響し、新興国通貨は対円で下落しました。

為替市況の推移（当作成期首を100として指数化）



為替市況の推移（当作成期首を100として指数化）



◎国内短期金融市場

当作成期中の短期金融市場を見ると、日銀は「量的・質的金融緩和」をめざし、マネタリーベースを操作目標として金融市場調節を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）は安定的に推移し、2015年12月10日のコール・レートは0.077%となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

＜三菱ＵＦＪ 新興国通貨建て債券ファンド（毎月決算型）＞

- ・当ファンドは、投資信託証券であるモルガン・スタンレー 新興国現地通貨建債券ファンド F（適格機関投資家専用）への投資を通じて、新興国通貨建て債券を高位に組み入れるとともに、余裕資金を効率的に運用するため、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を継続しました。

＜モルガン・スタンレー 新興国現地通貨建債券ファンド F（適格機関投資家専用）＞

- ・基準価額は当作成期首に比べ11.3%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

◎資産別組入比率の推移

- ・安定した配当等収益の確保と投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、モルガン・スタンレー 新興国現地通貨建債券マザーファンドを通じて、実質的に新興国10カ国の国債など（クレジット・リンク・ノートを含む）を高位に組み入れました。

◎国別配分戦略

- ・当作成期では、ブラジルの組入比率を引き下げました。当ポートフォリオは、現政権による構造改革の進展や相対的に高い経済成長率に対する期待などから投資魅力度が高いと考えるインドネシア、相対的に金利水準が高いことに加え、比較的健全な財政状況が維持されると見ているトルコなどを中心とする組み入れとしました。

◎金利戦略

- ・インフレ圧力が比較的抑制されていることやバリュエーション（投資価値基準）面などを勘案し、メキシコについては長期ゾーンの債券に投資して運用しました。
- ・当作成期間を通じて見ると、保有しているポーランド国債が上昇したことなどは基準価額にプラスに寄与しましたが、保有しているコロンビア国債が下落したこと、新興国通貨が対円で下落したことなどは基準価額にマイナスに影響しました。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

- ・基準価額は当作成期首に比べ0.01%の上昇となりました。
- ・コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債を中心に組み入れ、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益を獲得したことにより基準価額は上昇しました。

（ご参考）

債券の格付分布

作成期首（2015年6月10日）

格付	比率	銘柄数
AAA格	0.0%	0
AA格	5.9%	1
A格	31.9%	4
BBB格	59.6%	7
BB格	0.0%	0
B格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0

- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・格付は以下の3社の採用格付会社のうち、最も高い格付を採用しています。
 - ・スタンダード・アンド・プアーズ社（S&P）
 - ・ムーディーズ・インベスターズ・サービス社（Moody's）
 - ・フィッチ・レーティングス社（FitchRatings）
- ・格付を取得していない場合は、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクによる独自の格付を採用しています。

作成期末（2015年12月10日）

格付	比率	銘柄数
AAA格	0.0%	0
AA格	6.6%	1
A格	33.8%	4
BBB格	56.5%	6
BB格	0.0%	0
B格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0

- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・格付は以下の3社の採用格付会社のうち、最も高い格付を採用しています。
 - ・スタンダード・アンド・プアーズ社（S&P）
 - ・ムーディーズ・インベスターズ・サービス社（Moody's）
 - ・フィッチ・レーティングス社（FitchRatings）
- ・格付を取得していない場合は、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクによる独自の格付を採用しています。

（ご参考）

利回り・デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

作成期首（2015年6月10日）

最終利回り	7.0%
直接利回り	7.6%
デュレーション	3.9年

- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等の価格に対する年間のクーポン収入の割合を加重平均したものです。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・現地ベースで算出しています。

作成期末（2015年12月10日）

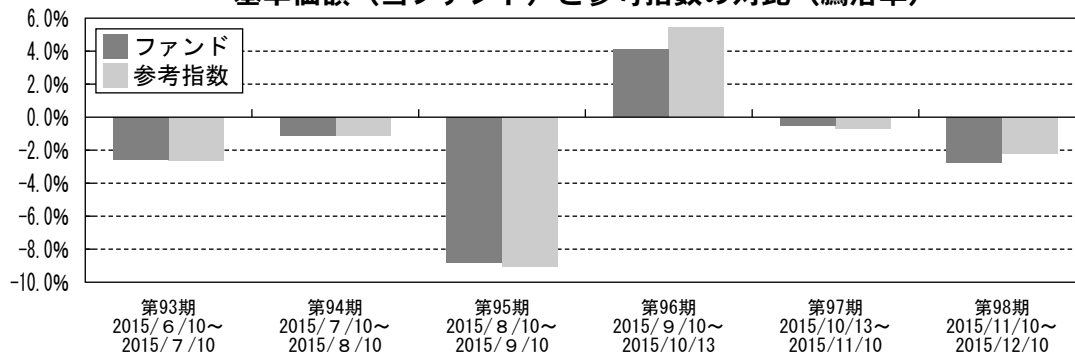
最終利回り	7.3%
直接利回り	7.6%
デュレーション	3.6年

- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等の価格に対する年間のクーポン収入の割合を加重平均したものです。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・現地ベースで算出しています。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

（第93期～第98期：2015/6/11～2015/12/10）

基準価額（当ファンド）と参考指数の対比（騰落率）



・ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数はＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭ グローバル ダイバーシファイド（円換算ベース）です。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第93期 2015年6月11日～ 2015年7月10日	第94期 2015年7月11日～ 2015年8月10日	第95期 2015年8月11日～ 2015年9月10日	第96期 2015年9月11日～ 2015年10月13日	第97期 2015年10月14日～ 2015年11月10日	第98期 2015年11月11日～ 2015年12月10日
当期分配金 （対基準価額比率）	25 0.398%	25 0.404%	25 0.445%	25 0.430%	25 0.434%	25 0.448%
当期の収益	25	25	25	25	25	25
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	390	393	397	398	404	404

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<三菱ＵＦＪ 新興国通貨建て債券ファンド（毎月決算型）>

◎今後の運用方針

- ・運用の基本方針にしたがって、引き続き投資信託証券への投資を通じて新興国通貨建て債券を高位に組み入れた運用を行うとともに、一部、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券の組み入れを維持し、毎月の安定した分配をめざしていく方針です。

<モルガン・スタンレー 新興国現地通貨建債券ファンド F（適格機関投資家専用）>

◎運用環境の見通し

- ・米国では利上げが比較的早い段階で開始されると予想しており、短期的には、リスク回避の動きなどから、新興国債券市況が不安定な展開になる可能性があります。しかしながら、米国の利上げが概ね新興国債券市況に織り込まれていると見ていること、世界的にインフレリスクが抑制されていることを背景に米国以外の主要中央銀行では緩和的な金融政策が維持されると見込まれることなどから、新興国債券市況が大幅に下落するリスクは小さくなっているとの見方を維持しています。中長期的には、新興国では中間層、富裕層の拡大を通じて高い経済成長が見込まれること、これまでの新興国通貨の下落などにより新興国債券・為替市場には割安感が高まっていることなどから、緩和的な金融政策が世界的に継続されれば、市場心理が落ち着くにしがたい、同市場には相対的に高い利回りを求める投資家からの資金流入が期待できると見ています。ただし、投資家の新興国に対する選別姿勢がさらに強まり、構造改革を進めている国と経常収支や政治・財政基盤を含むファンダメンタルズが脆弱な国との間で、債券・為替市況の動きに差が出てくる可能性がある点には注意が必要です。

◎今後の運用方針

- ・新興国の現地通貨建て債券に投資し、安定した配当等収益の確保と信託財産の長期的な成長をめざします。当ファンドは引き続き個別国の選別に注力し、インドネシア、トルコ、南アフリカ、メキシコなどを中心に組み入れる方針です。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・国内景気は緩やかな回復局面に向かうものと思われますが、デフレ脱却に向けて日銀は「量的・質的金融緩和政策」を当面維持することが見込まれます。そうした環境下、短期金利は低位安定推移になると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・運用の基本方針および前述の見通しに基づき、短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債を中心に投資し安定した収益の確保をめざしていく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年 6 月11日～2015年12月10日)

項 目	第93期～第98期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 28	% 0.475	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(8)	(0.130)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(19)	(0.324)	分配金・償還金・換金代金支払等の事務手続き、交付運用報告書等の送付、購入後の説明・情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.022)	投資信託財産の保管・管理、運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	28	0.477	
作成期中の平均基準価額は、5,873円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年6月11日～2015年12月10日)

投資信託証券

銘 柄		第93期～第98期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	モルガン・スタンレー 新興国現地通貨建て債券ファンド F（適格機関投資家専用）	千口 —	千円 —	千口 676,904	千円 394,080

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2015年6月11日～2015年12月10日)

利害関係人との取引状況

<三菱ＵＦＪ 新興国通貨建て債券ファンド（毎月決算型）>

区 分	第93期～第98期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
投資信託証券	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 394	百万円 394	% 100.0

<マネー・マーケット・マザーファンド>

区 分	第93期～第98期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 37,036	百万円 17,599	% 47.5	百万円 21,830	百万円 3,100	% 14.2
現先取引(公社債)	95,010	11,003	11.6	95,010	11,003	11.6

平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 公社債には現先などによるものを含まません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱ＵＦＪ信託銀行、三菱ＵＦＪモルガン・スタンレー証券です。

○組入資産の明細

(2015年12月10日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第92期末	第98期末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
		千口	千口	千円	%
モルガン・スタンレー 新興国現地通貨建債券ファンド F（適格機関投資家専用）		4,961,420	4,284,516	2,296,929	97.6
合	計	4,961,420	4,284,516	2,296,929	97.6

(注) 比率は三菱ＵＦＪ 新興国通貨建て債券ファンド（毎月決算型）の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘	柄	第92期末	第98期末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
マネー・マーケット・マザーファンド		5,226	5,226	5,322

○投資信託財産の構成

(2015年12月10日現在)

項 目	第98期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	2,296,929	96.5
マネー・マーケット・マザーファンド	5,322	0.2
コール・ローン等、その他	77,107	3.3
投資信託財産総額	2,379,358	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第93期末	第94期末	第95期末	第96期末	第97期末	第98期末
	2015年7月10日現在	2015年8月10日現在	2015年9月10日現在	2015年10月13日現在	2015年11月10日現在	2015年12月10日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	3,005,770,075	2,883,607,284	2,517,226,299	2,561,494,412	2,503,398,595	2,379,358,399
コール・ローン等	70,058,449	68,632,145	75,576,291	68,304,032	70,830,640	67,626,922
投資信託受益証券(評価額)	2,925,389,738	2,793,353,255	2,428,327,591	2,474,867,975	2,410,345,544	2,296,929,075
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	5,321,773	5,321,773	5,322,295	5,322,295	5,322,295	5,322,295
未収入金	5,000,000	16,300,000	8,000,000	13,000,000	16,900,000	9,480,000
未収利息	115	111	122	110	116	107
(B) 負債	19,392,670	32,736,115	27,226,166	24,881,173	29,963,568	26,140,400
未払収益分配金	11,941,707	11,575,900	11,134,801	10,942,480	10,773,808	10,589,641
未払解約金	5,026,228	18,773,119	13,935,454	11,810,842	17,366,304	13,637,959
未払信託報酬	2,416,508	2,378,995	2,148,597	2,120,629	1,817,269	1,906,311
その他未払費用	8,227	8,101	7,314	7,222	6,187	6,489
(C) 純資産総額(A－B)	2,986,377,405	2,850,871,169	2,490,000,133	2,536,613,239	2,473,435,027	2,353,217,999
元本	4,776,683,072	4,630,360,098	4,453,920,727	4,376,992,133	4,309,523,594	4,235,856,543
次期繰越損益金	△1,790,305,667	△1,779,488,929	△1,963,920,594	△1,840,378,894	△1,836,088,567	△1,882,638,544
(D) 受益権総口数	4,776,683.072口	4,630,360.098口	4,453,920.727口	4,376,992.133口	4,309,523.594口	4,235,856.543口
1万口当たり基準価額(C/D)	6.252円	6.157円	5.591円	5.795円	5.739円	5.555円

○損益の状況

項 目	第93期	第94期	第95期	第96期	第97期	第98期
	2015年6月11日～ 2015年7月10日	2015年7月11日～ 2015年8月10日	2015年8月11日～ 2015年9月10日	2015年9月11日～ 2015年10月13日	2015年10月14日～ 2015年11月10日	2015年11月11日～ 2015年12月10日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	16,909,057	15,005,996	14,867,025	11,945,492	14,769,586	12,854,506
受取配当金	16,905,930	15,002,992	14,864,191	11,942,064	14,766,736	12,851,424
受取利息	3,127	3,004	2,834	3,428	2,850	3,082
(B) 有価証券売買損益	△ 94,071,714	△ 45,143,222	△ 253,868,992	90,713,895	△ 26,281,121	△ 78,321,263
売買益	605,808	1,293,394	4,309,108	91,199,792	228,708	341,653
売買損	△ 94,677,522	△ 46,436,616	△ 258,178,100	△ 485,897	△ 26,509,829	△ 78,662,916
(C) 信託報酬等	△ 2,424,735	△ 2,387,096	△ 2,155,911	△ 2,127,851	△ 1,823,456	△ 1,912,800
(D) 当期繰越損益金 (A + B + C)	△ 79,587,392	△ 32,524,322	△ 241,157,878	100,531,536	△ 13,334,991	△ 67,379,557
(E) 前期繰越損益金	△ 973,805,918	△ 1,031,350,215	△ 1,033,001,511	△ 1,261,162,127	△ 1,151,829,432	△ 1,154,085,016
(F) 追加信託差損益金	△ 724,970,650	△ 704,038,492	△ 678,626,404	△ 668,805,823	△ 660,150,336	△ 650,584,330
(配当等相当額)	(19,621,804)	(19,220,818)	(18,696,878)	(18,607,061)	(18,539,747)	(18,449,673)
(売買損益相当額)	(△ 744,592,454)	(△ 723,259,310)	(△ 697,323,282)	(△ 687,412,884)	(△ 678,690,083)	(△ 669,034,003)
(G) 計 (D + E + F)	△ 1,778,363,960	△ 1,767,913,029	△ 1,952,785,793	△ 1,829,436,414	△ 1,825,314,759	△ 1,872,048,903
(H) 収益分配金	△ 11,941,707	△ 11,575,900	△ 11,134,801	△ 10,942,480	△ 10,773,808	△ 10,589,641
次期繰越損益金 (G + H)	△ 1,790,305,667	△ 1,779,488,929	△ 1,963,920,594	△ 1,840,378,894	△ 1,836,088,567	△ 1,882,638,544
追加信託差損益金	△ 724,970,650	△ 704,038,492	△ 678,626,404	△ 668,805,823	△ 660,150,336	△ 650,584,330
(配当等相当額)	(19,621,804)	(19,220,818)	(18,696,878)	(18,607,061)	(18,539,747)	(18,449,673)
(売買損益相当額)	(△ 744,592,454)	(△ 723,259,310)	(△ 697,323,282)	(△ 687,412,884)	(△ 678,690,083)	(△ 669,034,003)
分配準備積立金	167,114,867	162,913,618	158,168,818	155,997,810	155,582,342	153,086,963
繰越損益金	△ 1,232,449,884	△ 1,238,364,055	△ 1,443,463,008	△ 1,327,570,881	△ 1,331,520,573	△ 1,385,141,177

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

＜注記事項＞

① 作成期首（前作成期末）元本額 4,906,842,166円

 作成期中追加設定元本額 36,556,054円

 作成期中一部解約元本額 707,541,677円

 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.5555円です。

② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,882,638,544円です。

③ 分配金の計算過程

項 目	2015年6月11日～ 2015年7月10日	2015年7月11日～ 2015年8月10日	2015年8月11日～ 2015年9月10日	2015年9月11日～ 2015年10月13日	2015年10月14日～ 2015年11月10日	2015年11月11日～ 2015年12月10日
費用控除後の配当等収益額	14,484,404円	12,618,929円	12,711,167円	11,697,896円	12,946,178円	10,941,733円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	19,621,804円	19,220,818円	18,696,878円	18,607,061円	18,539,747円	18,449,673円
分配準備積立金額	164,572,170円	161,870,589円	156,592,452円	155,242,394円	153,409,972円	152,734,871円
当ファンドの分配対象収益額	198,678,378円	193,710,336円	188,000,497円	185,547,351円	184,895,897円	182,126,277円
1万口当たり収益分配対象額	415円	418円	422円	423円	429円	429円
1万口当たり分配金額	25円	25円	25円	25円	25円	25円
収益分配金金額	11,941,707円	11,575,900円	11,134,801円	10,942,480円	10,773,808円	10,589,641円

○分配金のお知らせ

	第93期	第94期	第95期	第96期	第97期	第98期
1 万口当たり分配金（税込み）	25円	25円	25円	25円	25円	25円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

* 三菱ＵＦＪ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<http://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お 知 ら せ】

①2015年7月1日に国際投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三菱ＵＦＪ国際投信株式会社へ変更し、信託約款に所要の変更を行いました。（2015年7月1日）

②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2015年12月10日現在）

<マネー・マーケット・マザーファンド>

下記は、マネー・マーケット・マザーファンド全体(5,760,049千口)の内容です。

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	第98期末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちＢＢ格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	4,946,350	4,946,873	84.3	—	—	—	84.3
	(4,700,000)	(4,700,333)	(80.1)	(—)	(—)	(—)	(80.1)
金融債券	300,000	300,549	5.1	—	—	—	5.1
	(300,000)	(300,549)	(5.1)	(—)	(—)	(—)	(5.1)
普通社債券	477,900	479,490	8.2	—	—	—	8.2
	(477,900)	(479,490)	(8.2)	(—)	(—)	(—)	(8.2)
合 計	5,724,250	5,726,912	97.6	—	—	—	97.6
	(5,477,900)	(5,480,373)	(93.4)	(—)	(—)	(—)	(93.4)

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	第98期末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第566回国庫短期証券	—	1,700,000	1,700,096	2016/2/1
第567回国庫短期証券	—	500,000	500,032	2016/2/8
第568回国庫短期証券	—	2,500,000	2,500,205	2016/2/15
第340回利付国債（2年）	0.1	62,600	62,635	2016/5/15
第342回利付国債（2年）	0.1	100,000	100,079	2016/7/15
第343回利付国債（2年）	0.1	83,750	83,825	2016/8/15
小 計		4,946,350	4,946,873	
金融債券				
い第729号農林債券	0.75	100,000	100,124	2016/2/26
い第731号農林債券	0.75	100,000	100,222	2016/4/27
い第732号農林債券	0.6	100,000	100,203	2016/5/27
小 計		300,000	300,549	
普通社債券				
第300回北陸電力	0.5	177,900	178,444	2016/11/30
第3回コニカミノルタホールディングス	0.61	200,000	200,908	2016/12/2
第3回興銀リース	0.267	100,000	100,138	2016/12/2
小 計		477,900	479,490	
合 計		5,724,250	5,726,912	

モルガン・スタンレー 新興国現地通貨建債券ファンド F (適格機関投資家専用)

《第93期》決算日	2015年 6 月 8 日
《第94期》決算日	2015年 7 月 7 日
《第95期》決算日	2015年 8 月 7 日
《第96期》決算日	2015年 9 月 7 日
《第97期》決算日	2015年10月 7 日
《第98期》決算日	2015年11月 9 日

[計算期間：2015年 5 月 8 日～2015年11月 9 日]

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信 託 期 間	原則無期限	
運 用 方 針	主として新興国の現地通貨建債券に投資し、安定した配当等収益の確保と投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。	
主要運用対象	ベ ビ ー フ ァ ン ド	モルガン・スタンレー 新興国現地通貨建債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。ただし、直接債券等に投資する場合もあります。
	マ ザ ー フ ァ ン ド	新興国の現地通貨建債券を主要投資対象とします。
組 入 制 限	ベ ビ ー フ ァ ン ド	マザーファンド受益証券への投資割合には制限を設けません。株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への実質投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。株式への実質投資は、新株予約権付社債等の権利行使等により取得した株券等に限ります。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マ ザ ー フ ァ ン ド	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。株式への投資は新株予約権付社債等の権利行使等により取得した株券等に限ります。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分 配 方 針	原則として、毎決算時（毎月 7 日。ただし決算日が休業日の場合は翌営業日）に、配当等収益を中心に繰越分を含めた利子・配当収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額の水準および分配原資の水準等を考慮して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額等の場合は、委託者の判断により分配を行わない場合もあります。収益の分配にあてなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。	

運用会社：モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント株式会社

最近5作成期の運用実績

作 成 期		基 準 価 額			参 考 指 数		債 券 組入比率	債 券 先物比率	純資産 総 額
		(分配落)	税 込 分配金	期 中 騰落率					
第13 作成期		円	円	%		%	%	%	百万円
	69期 (2013年 6 月 7 日)	6,852	47	△10.1	29,827.23	△8.7	97.5	—	8,604
	70期 (2013年 7 月 8 日)	6,662	38	△ 2.2	29,611.13	△0.7	96.1	—	7,866
	71期 (2013年 8 月 7 日)	6,495	37	△ 2.0	28,927.61	△2.3	98.3	—	7,334
	72期 (2013年 9 月 9 日)	6,264	40	△ 2.9	28,163.78	△2.6	96.2	—	6,687
	73期 (2013年10月 7 日)	6,364	34	2.1	29,078.63	3.2	98.9	—	6,588
	74期 (2013年11月 7 日)	6,340	40	0.3	29,325.22	0.8	97.5	—	6,361
第14 作成期	75期 (2013年12月 9 日)	6,476	39	2.8	30,103.45	2.7	97.1	—	6,166
	76期 (2014年 1 月 7 日)	6,396	42	△ 0.6	29,998.35	△0.3	96.8	—	5,706
	77期 (2014年 2 月 7 日)	6,084	34	△ 4.3	28,850.28	△3.8	98.2	—	5,261
	78期 (2014年 3 月 7 日)	6,299	35	4.1	29,939.60	3.8	97.9	—	5,310
	79期 (2014年 4 月 7 日)	6,414	43	2.5	30,634.40	2.3	97.8	—	5,218
	80期 (2014年 5 月 7 日)	6,387	40	0.2	30,566.66	△0.2	93.7	—	5,097
第15 作成期	81期 (2014年 6 月 9 日)	6,517	39	2.6	31,608.89	3.4	96.8	—	5,089
	82期 (2014年 7 月 7 日)	6,444	37	△ 0.6	31,394.61	△0.7	98.2	—	4,736
	83期 (2014年 8 月 7 日)	6,287	36	△ 1.9	30,790.05	△1.9	97.6	—	4,536
	84期 (2014年 9 月 8 日)	6,505	39	4.1	32,109.09	4.3	97.5	—	4,499
	85期 (2014年10月 7 日)	6,405	40	△ 0.9	31,819.30	△0.9	97.8	—	4,295
	86期 (2014年11月 7 日)	6,692	37	5.1	33,305.15	4.7	98.1	—	4,397
第16 作成期	87期 (2014年12月 8 日)	6,993	44	5.2	34,363.13	3.2	96.9	—	4,366
	88期 (2015年 1 月 7 日)	6,561	42	△ 5.6	32,261.14	△6.1	97.0	—	3,947
	89期 (2015年 2 月 9 日)	6,589	38	1.0	32,652.21	1.2	97.6	—	3,911
	90期 (2015年 3 月 9 日)	6,301	34	△ 3.9	31,547.19	△3.4	97.2	—	3,421
	91期 (2015年 4 月 7 日)	6,324	34	0.9	32,361.24	2.6	97.8	—	3,325
	92期 (2015年 5 月 7 日)	6,204	37	△ 1.3	32,170.82	△0.6	97.4	—	3,150
第17 作成期	93期 (2015年 6 月 8 日)	6,264	37	1.6	32,372.66	0.6	97.9	—	3,114
	94期 (2015年 7 月 7 日)	6,132	35	△ 1.5	31,723.86	△2.0	97.7	—	2,965
	95期 (2015年 8 月 7 日)	5,958	32	△ 2.3	30,946.25	△2.5	97.9	—	2,795
	96期 (2015年 9 月 7 日)	5,347	33	△ 9.7	27,995.62	△9.5	98.2	—	2,412
	97期 (2015年10月 7 日)	5,454	27	2.5	28,945.98	3.4	97.9	—	2,421
	98期 (2015年11月 9 日)	5,570	34	2.8	29,643.72	2.4	97.0	—	2,421

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注4) 参考指数としてJPMorgan GBI-EM グローバル ダイバーシファイドを使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。
JPMorgan GBI-EM グローバル ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。

過去6ヶ月間の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数		債 券 組入比率	債 券 先物比率
			騰 落 率		騰 落 率		
第93期	(期 首) 2015年5月7日	円 6,204	% —	32,170.82	% —	% 97.4	% —
	5月末	6,335	2.1	32,557.20	1.2	97.5	—
	(期 末) 2015年6月8日	6,301	1.6	32,372.66	0.6	97.9	—
第94期	(期 首) 2015年6月8日	6,264	—	32,372.66	—	97.9	—
	6月末	6,169	△1.5	31,765.24	△1.9	96.9	—
	(期 末) 2015年7月7日	6,167	△1.5	31,723.86	△2.0	97.7	—
第95期	(期 首) 2015年7月7日	6,132	—	31,723.86	—	97.7	—
	7月末	6,028	△1.7	31,302.36	△1.3	98.2	—
	(期 末) 2015年8月7日	5,990	△2.3	30,946.25	△2.5	97.9	—
第96期	(期 首) 2015年8月7日	5,958	—	30,946.25	—	97.9	—
	8月末	5,641	△5.3	29,219.41	△5.6	97.5	—
	(期 末) 2015年9月7日	5,380	△9.7	27,995.62	△9.5	98.2	—
第97期	(期 首) 2015年9月7日	5,347	—	27,995.62	—	98.2	—
	9月末	5,271	△1.4	27,639.62	△1.3	98.0	—
	(期 末) 2015年10月7日	5,481	2.5	28,945.98	3.4	97.9	—
第98期	(期 首) 2015年10月7日	5,454	—	28,945.98	—	97.9	—
	10月末	5,530	1.4	29,247.64	1.0	95.9	—
	(期 末) 2015年11月9日	5,604	2.8	29,643.72	2.4	97.0	—

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

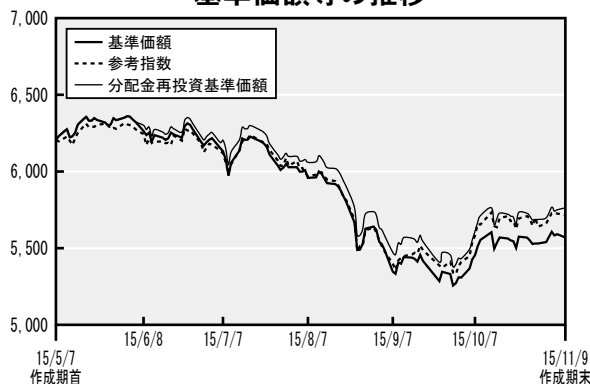
(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率ー売建比率。

(注4) 参考指数としてJPMorgan GBI-EM グローバル ダイバーシファイドを使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

運用経過

基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額、参考指数は作成期首の値を基準価額と同値にして指数化しております。
- (注2) 参考指数としてJPMorgan GBI-EM グローバル・ダイバーシファイドを使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

◆ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額は当作成期首比 $\Delta 7.1\%$ (分配金再投資ベース) となりました。

◆ 基準価額の主な変動要因および投資環境について

◎新興国現地通貨建て債券 (現地通貨ベース) の高水準なインカム収入

- ・当初は米国での利上げ開始が意識され新興国債券市場からの資金流出が懸念されたことや、世界的な景気後退懸念の高まりを受けたリスク回避的な動きが下落 (利回りは上昇) 要因となりました。一方その後は、9月、10月と米国での利上げ開始が見送られ利上げ開始時期の後ずれが期待されたことや、リスク回避的な動きが和らいだことで上昇 (利回りは低下) しました。新興国現地通貨建て債券は高水準のインカム収入を背景に堅調に推移し、代表的市場インデックスであるJPMorgan GBI-EM グローバル・ダイバーシファイド (現地通貨ベース) の当該期間のリターンは $+1.4\%$ となりました。

◎新興国通貨は米ドルに対して下落

- ・米国において2015年の利上げ開始が強く意識され米ドル高が進行したことや、さらに8月以降のリスク回避的な動きを受けて新興国通貨は対米ドルで $\Delta 11.9\%$ となりました。JPMorgan GBI-EM グローバル・ダイバーシファイド (米ドルベース) は、新興国債券市場 (現地通貨ベース) が上昇したものの、通貨が下落したことが背景となり、期首比 $\Delta 10.7\%$ となりました。

◎米ドル/円は若干上昇

- ・米ドル/円は、当初は米国における利上げ開始期待の高まりを背景に1米ドル=125円台後半までの円安米ドル高が進行しました。しかしその後、黒田日銀総裁がこれ以上の円安がありそうにないといった発言をしたことが市場では為替市場に対する口先介入としてとらえられ、また、8月にはリスク回避的な動きを受けて急激な円高米ドル安となる局面がありました。一方、11月上旬にかけては再び米国の年内の利上げ開始が意識されたため円安米ドル高となりました。当該期間通期では、米ドルの対円でのリターンは $+2.9\%$ (円安) となったものの、新興国通貨の対円でのリターンは $\Delta 9.1\%$ (円高) となりました。

◆ 当該投資信託のポートフォリオについて

◎資産別組入比率の推移

- ・安定した配当等収益の確保と投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、新興国10カ国の国債など（期中において保有していたクレジット・リンク・ノートを含む）を高位に組み入れました。

◎国別配分戦略

- ・欧州・中東・アフリカ地域では、①財政状況が比較的健全で、インカム・ゲインが高いトルコ、②直接投資等による資金フローが堅調なことに加え、ECBによる大規模な追加金融緩和を背景に国内においても緩和的な金融政策が見込まれることから債券市場が魅力的と考えるポーランド、③相対的に利回りが高く、原油安を受けたインフレ懸念の後退が債券市場の下支えになると期待された南アフリカなどへの投資を継続しました。
- ・中南米地域では、①最大貿易相手国である米国景気の改善傾向に加え、構造改革の進展が期待されるメキシコ、②相対的に利回りが高く、引き締め気味の金融政策が通貨のサポート要因として考えられるブラジル、③国内景気が相対的に良好であることに加えて、外貨準備が潤沢で財政状況が健全なペルーなどへの投資を継続しました。
- ・アジアでは、足元の経済成長率が比較的安定しており、構造改革の進展が中長期的な成長に寄与すると期待されることに加えて、低い公的債務比率、またアジア地域内では利回りが相対的に高いことなどを背景に投資魅力度が高いと考えられるインドネシアに引き続き投資しております。

◎金利戦略

- ・イールドカーブが概ねスティープな状態にある一方で、インフレ圧力が比較的抑制されていることを背景に、メキシコなどについてはリスク・プレミアムの観点から魅力的である長期債セクターを中心に投資しました。

◆ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークは設定しておりません。作成期中の騰落率は、ファンドが△7.1%（分配金再投資ベース）、参考指数が△7.9%となりました（騰落率は小数点以下第2位を四捨五入しております）。

◆ 分配金について

当作成期の収益分配金につきましては基準価額水準等を勘案し、1万口当たり第93期37円、第94期35円、第95期32円、第96期33円、第97期27円、第98期34円（作成期中合計198円）とさせていただきます。なお、収益分配金にあてなかった利益につきましては、投資信託財産に留保し運用の基本方針に基づいて運用いたします。

◀ 今後の運用方針 ▶

◎運用環境の見通し

- ・グローバル経済については、緩やかな景気回復が持続しています。特に米国においては、先行きに不透明感が台頭しているものの、失業率の低下など労働市場の緩やかな改善が継続しており、今後も緩やかな景気拡大が続く、ファンダメンタルズ面の安定化に繋がると期待されます。
- ・新興国については、中間層、富裕層の拡大を通じた消費市場の成長が見込めることから、相対的に高い経済成長が期待されます。中国においては追加金融緩和等の政策対応により景気のハードランディングが避けられると考えており、貿易等を通じて新興国全体の経済成長に寄与すると考えられます。一方、投資家の新興国に対する選別姿勢が強まる中、経常収支などの経済ファンダメンタルズの脆弱な国や、財政基盤の脆弱な国、政治基盤が不安定な国のボラティリティが高まるリスクなどには注視が必要です。資源価格の与える影響については、特に資源輸入国においては経済ファンダメンタルズの改善が期待出来る環境になっていると考えられます。
- ・金融政策に関しては、米国においてF R B（連邦準備制度理事会）は先進国の中では比較的早い段階で利上げに転換すると考えられる一方で、E C Bや日本銀行、中国人民銀行（中央銀行）等による緩和的な金融政策の長期化が見込まれており、世界的にインフレリスクが抑制されていることから、主要中央銀行が積極的な金融引き締めに転換する可能性は低いと考えられます。
- ・世界的に緩和的な金融政策が継続すると期待されることに加えて、足元投資家の資金フローが新興国債券市場に集中していないことから、新興国債券市場からの資金流出の可能性は限定的と考えています。
- ・このような環境下、現地通貨建て新興国債券市場については、経済ファンダメンタルズ対比で引き続き割安な投資対象であると考えています。

◎今後の運用方針

- ・新興国の現地通貨建て債券に投資し、安定した配当収益等の確保と長期的な成長をめざします。

1 万口当たりの費用明細

項目	第93期～第98期		項目の概要
	(2015年5月8日～2015年11月9日)		
	金額	比率	
a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託会社）	26円 (25) (0) (1)	0.450% (0.423) (0.005) (0.022)	a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用等の対価 各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
b) その他費用 （保管費用） （監査費用） （その他）	9 (7) (1) (1)	0.155 (0.121) (0.023) (0.011)	b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合計	35	0.605	
当作成期中の平均基準価額は、5,829円です。			

(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 「金額」欄は、各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

売買および取引の状況

(2015年5月8日から2015年11月9日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

決 算 期	第 93 期 ～ 第 98 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
モ ル ガ ン ・ ス タ ン レ ー 新興国現地通貨建債券マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 428,109	千円 543,239

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等

（2015年5月8日から2015年11月9日まで）

作成期中における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

（2015年11月9日現在）

親投資信託残高

種 類	第 16 作 成 期 末	第 17 作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
モルガン・スタンレー 新興国現地通貨建債券マザーファンド	2,413,275	1,985,165	2,426,666

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成

（2015年11月9日現在）

項 目	第 17 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
モルガン・スタンレー 新興国現地通貨建債券マザーファンド	2,426,666	98.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	28,991	1.2
投 資 信 託 財 産 総 額	2,455,657	100.0

（注1）モルガン・スタンレー 新興国現地通貨建債券マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（2,420,918千円）の投資信託財産総額（2,455,559千円）に対する比率は98.6%です。

（注2）外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2015年11月9日における邦貨換算レートは、1米ドル＝123.31円、1メキシコペソ＝7.34円、1ブラジルレアル＝32.72円、100チリペソ＝17.63円、100コロンビアペソ＝4.26円、1ペルーヌエボソル＝37.22円、1トルコリラ＝42.28円、100ハンガリーフォリント＝42.09円、1ポーランドズロチ＝31.00円、100インドネシアルピア＝0.91円、1南アフリカランド＝8.71円です。

資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	第93期末 2015/6/8現在	第94期末 2015/7/7現在	第95期末 2015/8/7現在	第96期末 2015/9/7現在	第97期末 2015/10/7現在	第98期末 2015/11/9現在
(A) 資産	3,145,711,062円	2,993,115,270円	2,824,958,468円	2,453,785,752円	2,441,705,216円	2,455,657,840円
コール・ローン等	627,329	600,277	48,752	110,828	93,626	91,301
モルガン・スタンレー 新興国現地通貨建債券 マザーファンド(評価額)	3,114,083,733	2,965,844,993	2,795,499,717	2,420,674,925	2,423,751,591	2,426,666,540
未収入金	31,000,000	26,670,000	29,409,999	32,999,999	17,859,999	28,899,999
(B) 負債	31,027,052	27,221,525	29,347,923	41,017,200	20,362,323	33,806,861
未払収益分配金	18,398,718	16,929,960	15,015,953	14,891,948	11,987,607	14,782,061
未払解約金	10,000,000	8,000,000	11,999,999	23,999,998	6,499,998	16,899,998
未払信託報酬	2,461,571	2,146,167	2,184,013	1,990,412	1,747,269	1,948,772
その他未払費用	166,763	145,398	147,958	134,842	127,449	176,030
(C) 純資産総額(A-B)	3,114,684,010	2,965,893,745	2,795,610,545	2,412,768,552	2,421,342,893	2,421,850,979
元 本	4,972,626,567	4,837,131,458	4,692,485,333	4,512,711,526	4,439,854,666	4,347,665,123
次期繰越損益金	△1,857,942,557	△1,871,237,713	△1,896,874,788	△2,099,942,974	△2,018,511,773	△1,925,814,144
(D) 受益権総口数	4,972,626,567口	4,837,131,458口	4,692,485,333口	4,512,711,526口	4,439,854,666口	4,347,665,123口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,264円	6,132円	5,958円	5,347円	5,454円	5,570円

損益の状況

項 目	第93期 2015/5/8～2015/6/8	第94期 2015/6/9～2015/7/7	第95期 2015/7/8～2015/8/7	第96期 2015/8/8～2015/9/7	第97期 2015/9/8～2015/10/7	第98期 2015/10/8～2015/11/9
(A) 有価証券売買損益	50,533,430円	△ 44,759,801円	△ 64,268,039円	△ 258,765,219円	61,372,082円	67,688,644円
売 買 益	51,899,385	555,491	996,510	3,789,296	61,724,611	68,413,624
売 買 損	△ 1,365,955	△ 45,315,292	△ 65,264,549	△ 262,554,515	△ 352,529	△ 724,980
(B) 信託報酬等	△ 2,628,334	△ 2,291,565	△ 2,331,971	△ 2,125,254	△ 1,874,718	△ 2,124,802
(C) 当期損益金(A+B)	47,905,096	△ 47,051,366	△ 66,600,010	△ 260,890,473	59,497,364	65,563,842
(D) 前期繰越損益金	△1,123,998,566	△1,064,609,035	△1,094,820,130	△1,131,322,647	△1,384,369,464	△1,309,097,836
(E) 追加信託差損益金	△ 763,450,369	△ 742,647,352	△ 720,438,695	△ 692,837,906	△ 681,652,066	△ 667,498,089
(配当等相当額)	(2,815)	(2,738)	(2,654)	(2,552)	(2,511)	(2,460)
(売買損益相当額)	(△ 763,453,184)	(△ 742,650,090)	(△ 720,441,349)	(△ 692,840,458)	(△ 681,654,577)	(△ 667,500,549)
(F) 計(C+D+E)	△1,839,543,839	△1,854,307,753	△1,881,858,835	△2,085,051,026	△2,006,524,166	△1,911,032,083
(G) 収益分配金	△ 18,398,718	△ 16,929,960	△ 15,015,953	△ 14,891,948	△ 11,987,607	△ 14,782,061
次期繰越損益金(F+G)	△1,857,942,557	△1,871,237,713	△1,896,874,788	△2,099,942,974	△2,018,511,773	△1,925,814,144
追加信託差損益金	△ 763,450,369	△ 742,647,352	△ 720,438,695	△ 692,837,906	△ 681,652,066	△ 667,498,089
(配当等相当額)	(2,815)	(2,738)	(2,654)	(2,552)	(2,511)	(2,460)
(売買損益相当額)	(△ 763,453,184)	(△ 742,650,090)	(△ 720,441,349)	(△ 692,840,458)	(△ 681,654,577)	(△ 667,500,549)
分配準備積立金	2,132,945	169,130	722,479	248,356	2,253,381	2,494,658
繰越損益金	△1,096,625,133	△1,128,759,491	△1,177,158,572	△1,407,353,424	△1,339,113,088	△1,260,810,713

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等は信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

〈注記事項〉

- ①作成期首元本額 5,078,416,899円
 作成期中追加設定元本額 ー円
 作成期中一部解約元本額 730,751,776円

②元本の欠損

貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は1,925,814,144円（第98期末）であります。

③分配金の計算過程

		第93期	第94期	第95期	第96期	第97期	第98期
費用控除後の配当等収益額	A	19,620,027円	14,964,585円	15,554,307円	14,402,607円	13,978,695円	15,067,113円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	ー円	ー円	ー円	ー円	ー円	ー円
収益調整金額	C	2,815円	2,738円	2,654円	2,552円	2,511円	2,460円
分配準備積立金額	D	911,636円	2,134,505円	184,125円	737,697円	262,293円	2,209,606円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	20,534,478円	17,101,828円	15,741,086円	15,142,856円	14,243,499円	17,279,179円
当ファンドの期末残存口数	F	4,972,626,567口	4,837,131,458口	4,692,485,333口	4,512,711,526口	4,439,854,666口	4,347,665,123口
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	41円	35円	33円	33円	32円	39円
1万口当たり分配金額	H	37円	35円	32円	33円	27円	34円
収益分配金金額	I=F*H/10,000	18,398,718円	16,929,960円	15,015,953円	14,891,948円	11,987,607円	14,782,061円

（注）配当等収益には、当ファンドに帰属すべきマザーファンドの配当等収益を含んでおります。

分配金のお知らせ

■ 収益分配金および分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第93期 2015年5月8日～ 2015年6月8日	第94期 2015年6月9日～ 2015年7月7日	第95期 2015年7月8日～ 2015年8月7日	第96期 2015年8月8日～ 2015年9月7日	第97期 2015年9月8日～ 2015年10月7日	第98期 2015年10月8日～ 2015年11月9日
当期分配金 （対基準価額比率）	37 0.587%	35 0.568%	32 0.534%	33 0.613%	27 0.493%	34 0.607%
当期の収益	37	30	32	31	27	34
当期の収益以外	ー	4	ー	1	ー	ー
翌期繰越分配対象額	4	0	1	0	5	5

（注1）当期分配金の対基準価額比率は、当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）「当期の収益」および「当期の収益以外」の数値は円未満を切捨てているため、「当期分配金」と一致しない場合があります。

【お知らせ】

- ①平成26年12月1日施行の投資信託及び投資法人に関する法律等の改正に伴い、デリバティブ取引等に係るリスク量管理方法を定める条及び信用リスク集中回避のための投資制限を定める条を新設する約款変更を行いました。（平成27年5月29日付）
- ②投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める運用報告書の交付を行わない旨を定めていますが、信託事務の諸費用の記載においてより明確にするため「受益者に対する報告書」を追加する約款変更を行いました。（平成27年5月29日付）

モルガン・スタンレー 新興国現地通貨建債券マザーファンド

《第9期》決算日2015年11月9日

[計算期間：2014年11月8日～2015年11月9日]

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として新興国の現地通貨建債券に投資し、安定した配当等収益の確保と投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として運用を行うことを基本とします。
主要運用対象	新興国の現地通貨建債券を主要投資対象とします。
組入制限	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。 株式への投資は新株予約権付社債等の権利行使等により取得した株券等に限りません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準 価 額		参 考 指 数		債 券 組入比率	債 券 先物比率
		騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2014年11月7日	円 13,573	% —		% —	% 97.6	% —
11月末	14,259	5.1	34,717.41	4.2	97.1	—
12月末	13,784	1.6	33,000.80	△ 0.9	96.8	—
2015年1月末	13,813	1.8	32,771.81	△ 1.6	97.6	—
2月末	13,469	△ 0.8	32,442.87	△ 2.6	96.3	—
3月末	13,045	△ 3.9	31,531.29	△ 5.3	97.1	—
4月末	13,224	△ 2.6	32,461.89	△ 2.5	97.8	—
5月末	13,379	△ 1.4	32,557.20	△ 2.2	97.0	—
6月末	13,114	△ 3.4	31,765.24	△ 4.6	96.6	—
7月末	12,899	△ 5.0	31,302.36	△ 6.0	98.2	—
8月末	12,146	△10.5	29,219.41	△12.3	97.0	—
9月末	11,430	△15.8	27,639.62	△17.0	97.8	—
10月末	12,059	△11.2	29,247.64	△12.2	95.7	—
(期 末) 2015年11月9日	12,224	△ 9.9	29,643.72	△11.0	96.8	—

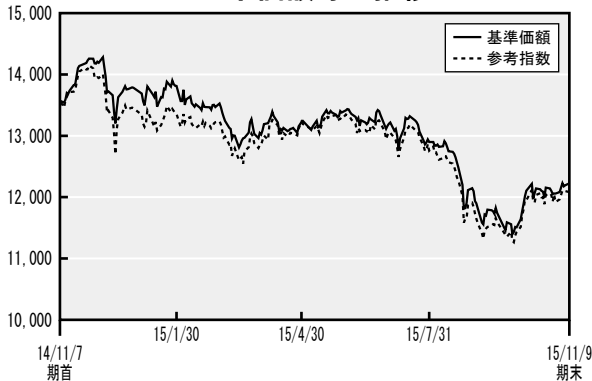
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注3) 参考指数としてJPMorgan GBI-EM グローバル ダイバーシファイドを使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信
売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

運用経過

基準価額等の推移



(注1) 参考指数は期首の値を基準価額と同値にして指数化しております。

(注2) 参考指数としてJPモルガン GBI-EM グローバル・ダイバーシファイドを使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

◆ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額は期首比 $\Delta 9.9\%$ となりました。

◆ 基準価額の主な変動要因および投資環境について

◎新興国現地通貨建て債券（現地通貨ベース）の高水準なインカム収入

- ・当初は原油価格の急激な下落により、一部の資源輸出国の経済情勢の不安定化が懸念された一方で、インフレ率の低下期待やECB（欧州中央銀行）による大規模な追加金融緩和等を受けて世界的に緩和的な金融政策の長期化が期待されたことが債券市場の支えとなりました。しかし、その後は米国での利上げ開始が意識され新興国債券市場からの資金流出が懸念されたことが下落（利回りは上昇）要因となりました。新興国現地通貨建て債券は高水準のインカム収入を背景に堅調に推移し、代表的市場インデックスであるJPモルガン GBI-EM グローバル・ダイバーシファイド（現地通貨ベース）の当該期間のリターンは $+3.8\%$ となりました。

◎新興国通貨は米ドルに対して下落

- ・インフレ懸念の後退を背景に多くの新興国でより緩和的な金融政策が打ち出されたことや、一部の国においては政治的な不透明感や原油安による景気等への悪影響が通貨の下落要因となり、また米国において2015年の利上げ開始が強く意識され米ドル高が進行したこと、さらに8月以降のリスク回避的な動きを受けて新興国通貨は対米ドルで $\Delta 20.1\%$ となりました。JPモルガン GBI-EM グローバル・ダイバーシファイド（米ドルベース）は、新興国債券市場（現地通貨ベース）が上昇したものの、通貨が下落したことが背景となり、期首比 $\Delta 17.1\%$ となりました。

◎米ドル／円は上昇

- ・米ドル／円は、当初は日銀による緩和的な金融政策に加えて、米国の良好な経済指標を背景とした利上げ開始期待の高まりを背景に円安米ドル高が進行しました。8月にはリスク回避的な動きや利上げの見送り等を背景に一時的に円高米ドル安となる局面があったものの、その後は比較的良好な経済指標等を背景に利上げ開始が再び意識されたことで円安米ドル高となりました。当該期間通期では、米ドルの対円でのリターンは $+7.5\%$ （円安）となったものの、新興国通貨の対円でのリターンは $\Delta 14.3\%$ （円高）となりました。

◆ 当該投資信託のポートフォリオについて

◎資産別組入比率の推移

- ・安定した配当等収益の確保と投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、新興国10カ国の国債など（期中において保有していたクレジット・リンク・ノートを含む）を高位に組み入れました。

◎国別配分戦略

- ・欧州・中東・アフリカ地域では、①財政状況が比較的健全で、インカム・ゲインが高いトルコ、②直接投資等による資金フローが堅調なことに加え、ECBによる大規模な追加金融緩和を背景に国内においても緩和的な金融政策が見込まれることから債券市場が魅力的と考えるポーランド、③相対的に利回りが高く、原油安を受けたインフレ懸念の後退が債券市場の下支えになると期待された南アフリカなどへの投資を継続しました。
- ・中南米地域では、①最大貿易相手国である米国景気の改善傾向に加え、構造改革の進展が期待されるメキシコ、②相対的に利回りが高く、引き締め気味の金融政策が通貨のサポート要因として考えられるブラジル、③国内景気が相対的に良好であることに加えて、外貨準備が潤沢で財政状況が健全なペルーなどへの投資を継続しました。
- ・アジアでは、足元の経済成長率が比較的安定しており、構造改革の進展が中長期的な成長に寄与すると期待されることに加えて、低い公的債務比率、またアジア地域内では利回りが相対的に高いことなどを背景に投資魅力度が高いと考えられるインドネシアに引き続き投資しております。

◎金利戦略

- ・イールドカーブが概ねスティープな状態にある一方で、インフレ圧力が比較的抑制されていることを背景に、メキシコなどについてはリスク・プレミアムの観点から魅力的である長期債セクターを中心に投資しました。

今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・グローバル経済については、緩やかな景気回復が持続しています。特に米国においては、先行きに不透明感が台頭しているものの、失業率の低下など労働市場の緩やかな改善が継続しており、今後も緩やかな景気拡大が続き、ファンダメンタルズ面の安定化に繋がると期待されます。
- ・新興国については、中間層、富裕層の拡大を通じた消費市場の成長が見込めることから、相対的に高い経済成長が期待されます。中国においては追加金融緩和等の政策対応により景気のハードランディングが避けられると考えており、貿易等を通じて新興国全体の経済成長に寄与すると考えられます。一方、投資家の新興国に対する選別姿勢が強まる中、経常収支などの経済ファンダメンタルズの脆弱な国や、財政基盤の脆弱な国、政治基盤が不安定な国のボラティリティが高まるリスクなどには注視が必要です。資源価格の与える影響については、特に資源輸入国においては経済ファンダメンタルズの改善が期待出来る環境になっていると考えられます。
- ・金融政策に関しては、米国においてFRB（連邦準備制度理事会）は先進国の中では比較的早い段階で利上げに転換すると考えられる一方で、ECBや日本銀行、中国人民銀行（中央銀行）等による緩和的な金融政策の長期化が見込まれており、世界的にインフレリスクが抑制されていることから、主要中央銀行が積極的な金融引き締めに転換する可能性は低いと考えられます。
- ・世界的に緩和的な金融政策が継続すると期待されることに加えて、足元投資家の資金フローが新興国債券市場に集中していないことから、新興国債券市場からの資金流出の可能性は限定的と考えています。
- ・このような環境下、現地通貨建て新興国債券市場については、経済ファンダメンタルズ対比で引き続き割安な投資対象であると考えています。

◎今後の運用方針

- ・新興国の現地通貨建て債券に投資し、安定した配当収益等の確保と長期的な成長をめざします。

1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2014年11月8日～2015年11月9日)		
	金額	比率	
その他費用 (保管費用)	28円 (28)	0.213% (0.213)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	28	0.213	

当期中の平均基準価額は、13,051円です。

当期中の平均基準価額は、13,051円です。

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 「金額」欄は、各項目毎に円未満は四捨五入しております。

売買および取引の状況

(2014年11月8日から2015年11月9日まで)

公社債

			買付額	売付額
外	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ —	千メキシコペソ 16,227
	ブラジル	国債証券	千ブラジルレアル 1,656	千ブラジルレアル 6,416
	チリ	国債証券	千チリペソ —	千チリペソ 373,322
	コロンビア	国債証券	千コロンビアペソ —	千コロンビアペソ 994,907
	ペルー	国債証券	千ペルーヌエボソル —	千ペルーヌエボソル 927
	トルコ	国債証券	千トルコリラ —	千トルコリラ 4,196

			買付額	売付額
外	ハンガリー	国債証券	千ハンガリーフォリント —	千ハンガリーフォリント 194,362
	ポーランド	国債証券	千ポーランドズロチ —	千ポーランドズロチ 6,790
	インドネシア	国債証券	千インドネシアルピア 41,150,000	千インドネシアルピア 6,207,360
		社債券	—	62,469,000
	南アフリカ	国債証券	千南アフリカランド —	千南アフリカランド 19,249

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

利害関係人との取引状況等

(2014年11月8日から2015年11月9日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

(2015年11月9日現在)

■ 公社債

(A) 債券種類別開示 外国（外貨建）公社債

区 分	額 面 金 額	当 期		末				
		評 価 額		組入比率	うち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
メ キ シ コ	千メキシコペソ 34,030	千メキシコペソ 37,341	千円 274,085	% 11.3	% —	% 11.3	% —	% —
ブ ラ ジ ル	千ブラジルレアル 8,408	千ブラジルレアル 7,974	260,923	10.8	—	—	—	10.8
チ リ	千チリペソ 856,500	千チリペソ 888,190	156,587	6.5	—	—	6.5	—
コ ロ ン ビ ア	千コロンビアペソ 3,610,000	千コロンビアペソ 3,018,140	128,572	5.3	—	5.3	—	—
ペ ル ー	千ペルーヌエボソル 7,040	千ペルーヌエボソル 7,513	279,660	11.5	—	—	—	11.5
ト ル コ	千トルコリラ 6,415	千トルコリラ 6,633	280,447	11.6	—	—	11.6	—
ハ ン ガ リ ー	千ハンガリーフォリント 290,000	千ハンガリーフォリント 311,208	130,987	5.4	—	—	—	5.4
ポ ー ラ ン ド	千ポーランドズロチ 7,283	千ポーランドズロチ 7,919	245,517	10.1	—	—	10.1	—
イ ン ド ネ シ ア	千インドネシアルピア 33,640,000	千インドネシアルピア 33,229,592	302,389	12.5	—	12.5	—	—
南 ア フ リ カ	千南アフリカランド 34,105	千南アフリカランド 33,371	290,667	12.0	—	—	12.0	—
合 計	—	—	2,349,840	96.8	—	29.1	40.1	27.7

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 一印は組入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 個別銘柄開示 外国（外貨建）公社債

当 期 末						
銘 柄	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(メキシコ) MEXICO	国 債 証 券	% 7.5	千メキシコペソ 34,030	千メキシコペソ 37,341	千円 274,085	2027/6/3
小 計					274,085	
(ブラジル) BRAZIL	国 債 証 券	10.0	千ブラジルレアル 8,408	千ブラジルレアル 7,974	260,923	2017/1/1
小 計					260,923	
(チリ) CHILE	国 債 証 券	5.5	千チリペソ 856,500	千チリペソ 888,190	156,587	2020/8/5
小 計					156,587	
(コロンビア) COLOMBIA	国 債 証 券	4.375	千コロンビアペソ 3,610,000	千コロンビアペソ 3,018,140	128,572	2023/3/21
小 計					128,572	
(ペルー) PERU	国 債 証 券	8.6	千ペルーヌエボソル 7,040	千ペルーヌエボソル 7,513	279,660	2017/8/12
小 計					279,660	
(トルコ) TURKEY	国 債 証 券	10.5	千トルコリラ 6,415	千トルコリラ 6,633	280,447	2020/1/15
小 計					280,447	
(ハンガリー) HUNGARY	国 債 証 券	6.75	千ハンガリーフォリント 290,000	千ハンガリーフォリント 311,208	130,987	2017/2/24
小 計					130,987	
(ポーランド) POLAND POLAND	国 債 証 券	3.75 5.5	千ポーランドズロチ 3,703 3,580	千ポーランドズロチ 3,877 4,042	120,188 125,329	2018/4/25 2019/10/25
小 計					245,517	
(インドネシア) INDONESIA	国 債 証 券	8.375	千インドネシアルピア 33,640,000	千インドネシアルピア 33,229,592	302,389	2024/3/15
小 計					302,389	
(南アフリカ) SOUTH AFRICA	国 債 証 券	7.25	千南アフリカランド 34,105	千南アフリカランド 33,371	290,667	2020/1/15
小 計					290,667	
合 計					2,349,840	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成

(2015年11月9日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 2,349,840	% 95.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	105,719	4.3
投 資 信 託 財 産 総 額	2,455,559	100.0

(注1) 当期末における外貨建純資産(2,420,918千円)の投資信託財産総額(2,455,559千円)に対する比率は98.6%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2015年11月9日における邦貨換算レートは、1米ドル=123.31円、1メキシコペソ=7.34円、1ブラジルレアル=32.72円、100チリペソ=17.63円、100コロンビアペソ=4.26円、1ペルーヌエボソル=37.22円、1トルコリラ=42.28円、100ハンガリーフォリント=42.09円、1ポーランドズロチ=31.00円、100インドネシアルピア=0.91円、1南アフリカランド=8.71円です。

資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年11月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,455,559,951円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	49,494,502
公 社 債(評価額)	2,349,840,439
未 収 利 息	56,225,010
(B) 負 債	28,899,999
未 払 解 約 金	28,899,999
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	2,426,659,952
元 本	1,985,165,691
次 期 繰 越 損 益 金	441,494,261
(D) 受 益 権 総 口 数	1,985,165,691口
1万口当たり基準価額(C / D)	12,224円

損益の状況

(2014年11月8日から2015年11月9日まで)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	227,291,649円
受 取 利 息	227,291,649
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 530,969,150
売 買 益	20,921,915
売 買 損	△ 551,891,065
(C) 信 託 報 酬 等	△ 6,976,245
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	△ 310,653,746
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	1,163,250,659
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 411,102,652
(G) 計 (D + E + F)	441,494,261
次 期 繰 越 損 益 金(G)	441,494,261

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含まず。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等は、外貨建資産の保管に係る費用等です。

(注3) 損益の状況の中で(F)解約差損益金は、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額	3,255,642,935円
期中追加設定元本額	—円
期中一部解約元本額	1,270,477,244円
期末における元本の内訳	
モルガン・スタンレー 新興国現地通貨建債券ファンド F (適格機関投資家専用)	1,985,165,691円
期末元本額合計	1,985,165,691円

【お知らせ】

平成26年12月1日施行の投資信託及び投資法人に関する法律等の改正に伴い、デリバティブ取引等に係るリスク量管理方法を定める条及び信用リスク集中回避のための投資制限を定める条を新設する約款変更を行いました。(平成27年5月29日付)

マネー・マーケット・マザーファンド

《第22期》決算日2015年11月20日

〔計算期間：2015年5月21日～2015年11月20日〕

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、11月20日に第22期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第22期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主 要 運 用 対 象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
18期(2013年11月20日)	10,178		0.0	87.7	—	2,850
19期(2014年5月20日)	10,180		0.0	84.7	—	2,716
20期(2014年11月20日)	10,183		0.0	84.3	—	2,373
21期(2015年5月20日)	10,183		0.0	89.3	—	1,959
22期(2015年11月20日)	10,185		0.0	91.2	—	27,834

(注) 当ファンドは主として短期債券、コール・ローンなどによる運用を行い、安定的な収益の確保をめざすファンドであり、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		騰 落	率			
(期 首)	円		%	%	%	%
2015年5月20日	10,183		—	89.3	—	—
5月末	10,183		0.0	90.6	—	—
6月末	10,183		0.0	93.0	—	—
7月末	10,183		0.0	95.8	—	—
8月末	10,184		0.0	95.3	—	—
9月末	10,184		0.0	56.4	—	—
10月末	10,184		0.0	91.0	—	—
(期 末)						
2015年11月20日	10,185		0.0	91.2	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

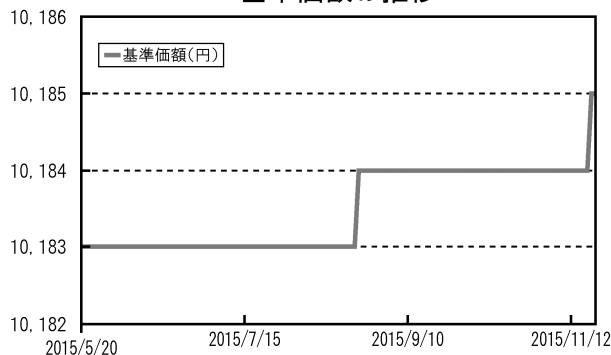
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.02%の上昇となりました。

基準価額の推移



●投資環境について

◎国内短期金融市場

・期中の短期金融市場を見ると、日銀は「量的・質的金融緩和」をめざし、マネタリーベースを操作目標として金融市場調節を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）は安定的に推移し、2015年11月20日のコール・レートは0.077%となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

・コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債を中心に組み入れ、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益を獲得したことにより基準価額は上昇しました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

・国内景気は緩やかな回復局面に向かうものと思われませんが、デフレ脱却に向けて日銀は「量的・質的金融緩和政策」を当面維持することが見込まれます。そうした環境下、短期金利は低位安定推移になると予想しています。

◎今後の運用方針

・運用の基本方針および前述の見通しに基づき、短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債を中心に投資し安定した収益の確保をめざしていく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年 5 月21日～2015年11月20日)

該当事項はございません。

○ 売買及び取引の状況

(2015年 5 月21日～2015年11月20日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 131, 267, 396	千円 98, 511, 004 (9, 120, 000)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○ 利害関係人との取引状況等

(2015年 5 月21日～2015年11月20日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	36, 256	17, 599	48. 5	3, 500	2, 100	60. 0
現先取引(公社債)	95, 010	11, 003	11. 6	95, 010	11, 003	11. 6

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第 1 項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

○組入資産の明細

(2015年11月20日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちB B格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	25,386,350 (24,840,000)	25,387,817 (24,841,225)	91.2 (89.2)	— (—)	— (—)	— (—)	91.2 (89.2)
合 計	25,386,350 (24,840,000)	25,387,817 (24,841,225)	91.2 (89.2)	— (—)	— (—)	— (—)	91.2 (89.2)

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期			末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	%	千円	千円		
第554回国庫短期証券	—	3,110,000	3,110,000	2015/11/30	
第555回国庫短期証券	—	3,500,000	3,500,000	2015/12/7	
第557回国庫短期証券	—	3,640,000	3,640,000	2015/12/14	
第561回国庫短期証券	—	90,000	90,004	2016/1/12	
第563回国庫短期証券	—	5,000,000	5,000,280	2016/1/18	
第564回国庫短期証券	—	3,000,000	3,000,210	2016/1/25	
第566回国庫短期証券	—	3,000,000	3,000,261	2016/2/1	
第567回国庫短期証券	—	1,000,000	1,000,090	2016/2/8	
第568回国庫短期証券	—	2,500,000	2,500,380	2016/2/15	
第336回利付国債(2年)	0.1	300,000	300,051	2016/1/15	
第340回利付国債(2年)	0.1	62,600	62,636	2016/5/15	
第342回利付国債(2年)	0.1	100,000	100,079	2016/7/15	
第343回利付国債(2年)	0.1	83,750	83,825	2016/8/15	
合 計		25,386,350	25,387,817		

○投資信託財産の構成

(2015年11月20日現在)

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
公社債	千円	%	千円	%
	25,387,817	91.2		
コール・ローン等、その他	2,446,214	8.8		
投資信託財産総額	27,834,031	100.0		

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年11月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	27,834,031,140
コール・ローン等	2,446,046,790
公社債(評価額)	25,387,817,093
未収利息	58,164
前払費用	109,093
(B) 負債	562
未払解約金	562
(C) 純資産総額(A-B)	27,834,030,578
元本	27,329,169,583
次期繰越損益金	504,860,995
(D) 受益権総口数	27,329,169,583口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,185円

<注記事項>

- ①期首元本額 1,924,361,734円
 期中追加設定元本額 26,414,042,501円
 期中一部解約元本額 1,009,234,652円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0185円です。

②期末における元本の内訳 (当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	297,790,994円
三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド(毎月決算型)	5,226,135円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	14,525,380円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	1,628,029円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース>(毎月分配型)	101,543円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	47,179,877円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	94,134,350円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>(毎月分配型)	233,263円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>(毎月分配型)	4,757,576円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	414,316,230円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース>(毎月分配型)	128,906円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース>(毎月分配型)	1,033,322円
ブラデスコ ブラジル成長株オープン・マネーボール・ファンド	2,017,196円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	212,322円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド(毎月分配型)	42,384,248円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド(毎月分配型)	3,558,532円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(毎月分配型)	23,960,741円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	457,302円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	358,088円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	2,100,667円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	3,836,590円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	383,682円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	8,771,978円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	13,745,897円

○損益の状況 (2015年5月21日～2015年11月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	985,144
受取利息	985,144
(B) 有価証券売買損益	1,172,965
売買益	1,359,890
売買損	△ 186,925
(C) 当期損益金(A+B)	2,158,109
(D) 前期繰越損益金	35,231,293
(E) 追加信託差損益金	485,984,607
(F) 解約差損益金	△ 18,513,014
(G) 計(C+D+E+F)	504,860,995
次期繰越損益金(G)	504,860,995

- (注)(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注)(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注)(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	3,037,917円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	1,970,066円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	43,682,881円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	374,779円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース> (毎月分配型)	407,171円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネーブルファンド>	38,911,455円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	2,221,253円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)	1,784,459円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	2,576,702円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	3,148,614円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	67,305円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーブルファンド>	3,492,263円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム (毎月分配型)	78,483,503円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)	1,285,463円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)	1,147,224円
新興国ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)	1,068円
新興国ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)	20,706円
三菱UFJ 米国リートファンドA<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,836円
三菱UFJ 米国リートファンドB<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	98,368円
三菱UFJ /UBS グローバル好利回CBファンド2012-11 (円ヘッジ) (限定追加型)	0円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソ> (毎月分配型)	31,229,335円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド (年2回分配型)	168,137円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (年2回分配型)	276,237円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (年2回分配型)	20,660円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	89,380円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (年2回分配型)	1,554,984円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	2,668,957円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	688,506円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	19,658円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,449円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,828,976円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	19,255,183円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	554,804円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	1,936,118円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	9,829円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	15,049,666円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	20,551,717円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	3,730,759円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	5,059,469円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	3,653,886円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	252,058円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルールコース> (毎月分配型)	3,908,079円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (年2回分配型)	3,737,703円

三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (年2回分配型)	6,435,081円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (年2回分配型)	686,803円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	627,788円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (年2回分配型)	608,110円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (年2回分配型)	46,726円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (年2回分配型)	581,687円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンドA>	112,318,894円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンドB>	980,017円
三菱UFJ /ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (毎月決算型)	1,423,307円
三菱UFJ /ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	3,270,787円
三菱UFJ /ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (年1回決算型)	1,168,184円
三菱UFJ /ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	2,065,331円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Cコース (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	983円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Dコース (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	983円
三菱UFJ /UBS グローバル好利回CBファンド2013-11 (円ヘッジ) (限定追加型)	982,608円
三菱UFJ /ビムコ トータル・リターン・ファンド2014	256,356円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型)	2,827,156円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (毎月分配型)	9,387,547円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3,545,187円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8,124,755円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)	2,990,177円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	3,377,211円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (毎月分配型)	151,268円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (年2回分配型)	168,922円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	1,674,507円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	658,018円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	9,991,470円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	1,616,484円
三菱UFJ /AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド 豪ドル円プレミアム (毎月決算型)	25,537,767円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (毎月分配型)	42,906,570円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (年2回分配型)	8,585,548円
N a v i o インド債券ファンド	885,566円
N a v i o マネーボールファンド	1,883,381円
三菱UFJ インド債券オープン (毎月決算型)	39,351円
バンクローンファンドUSA (為替ヘッジあり) 2014-08	11,276,260円
マネーボールファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	102,821円
MUAM トピックスリスクコントロール (5%) インデックスファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	7,644,146円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Aコース (為替ヘッジなし)	16,982,851円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース (為替ヘッジあり)	21,620,196円
三菱UFJ バランス・イノベーション (債券重視型)	1,242,825,788円
三菱UFJ /AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	11,293,333円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	6,324,266円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型)	3,063,931円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	1,375,824円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	1,071,396円
マルチストラテジー・ファンド (ラップ向け)	491,015円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	918,198円

PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	138,468円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (年2回分配型)	10,804円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (毎月分配型)	10,804円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	983円
三菱UFJ バランス・イノベーション (株式抑制型)	10,531,117,458円
三菱UFJ DCバランス・イノベーション (KAKUSHIN)	112,195,605円
MUAM トピックスリスクコントロール (10%) インデックスファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	195,410,633円
三菱UFJ バランス・イノベーション (新興国投資型)	0円
三菱UFJ バランス・イノベーション (株式重視型)	13,274,970,563円
三菱UFJ グローバル好利回りCBファンド2013-03 (円ヘッジ) (限定追加型)	343,676,356円
合計	27,329,169,583円

【お 知 ら せ】

2015年7月1日に国際投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三菱UFJ国際投信株式会社へ変更し、信託約款に所要の変更を行いました。
(2015年7月1日)